

**令和5年度**

**第2回座間市部活動  
地域移行検討委員会**

**令和6年3月18日（月）15:00～  
座間市役所 5-4・5会議室**

## ◇部活動地域移行の方向性（案）

部活動という形ではない、地域の子ども  
たちがスポーツ・文化芸術活動に親しむ  
ことのできる持続可能な環境の構築

# 国の方針策定の趣旨

○ **少子化の進展により、学校部活動を従前と同様の体制で運営することは難しくなっており、学校や地域によっては存続が厳しい状況にある。また、必ずしも専門性や意思に関わらず**教師が顧問を務めるこれまでの指導体制を継続することは、学校の働き方改革が進む中、より一層厳しくなっている。****

# ◆座間市の生徒数の推移

▼令和4年度・・・**3050**人

▼10年後・・・17%減

約**2700**人に

▼20年後・・・25%減

約**2300**人に

▼教員の数も減っていくことが想定される

# ◆座間市の中学校部活動の現状

## ▼部活動数

- ・運動部活動数：63
- ・文化部活動数：23

## ▼複数顧問制

- ・一つの部活動に複数の教員が顧問として配置  
⇒やむを得ず、単独顧問になっている部活も

## ▼合同部活（単独でチームを組めない）

- ・軟式野球　・サッカー　・ソフトボール

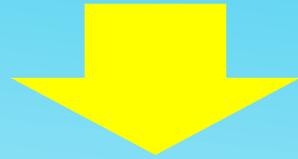
## ▼廃部が決定（R6年度）

- ・南中学校柔道部

## ◆中学校部活動の今後

- ①生徒数の減少により、1つの学校でそれぞれの部活動をこれまで通り維持することが難しくなる
- ②教員数も減少し、顧問がいない、専門的な指導ができなくなる

現行の体制を維持することは、今も厳しいが、今後さらに厳しくなっていくことは目に見えている。



**部活動という形ではない、地域の子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に親しむことのできる持続可能な環境の構築**

**が必要**

# 地域移行のイメージ

○部活動の地域移行が言葉として分かりにくいのでは？

⇒現行の部活動をそのまま地域が行うのではない

**☆部活動ではない、新たなスポーツや文化活動に親しめる場所を地域に創るイメージ**

# 取組事例

◎ 京都府舞鶴市

◎ 福岡県宗像市

◎ 兵庫県加古川市・加古郡播磨町

# 全国の取組事例

## ◇スポーツ庁・文化庁のHP 部活動改革ポータルサイトより

全国各地で取り組まれている、部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行に向けた取組等を掲載

# 地域移行に向けて

## 1 地域移行に向けた様々な選択肢

(2) 地域クラブ活動への移行における運営形態の類型（国のガイドライン）

**市区町村運営型**

○地域団体・人材活用型

○任意団体設立型

○競技団体・文化芸術団体等

**連携型**

# 地域移行に向けて

## 1 地域移行に向けた様々な選択肢

(2) 地域クラブ活動への移行における運営形態の類型（国のガイドライン）

**地域スポーツ団体・文化芸術団体等運営型**

○総合型地域スポーツクラブ

運営型

○体育・スポーツ協会・

文化芸術団体等運営型

○民間スポーツ事業者運営型

# 地域移行に向けて

## 1 地域移行に向けた様々な選択肢

(2) 地域クラブ活動への移行における運営形態の類型（国のガイドライン）

**その他**

## ○その他の類型

（学校と関係する団体や地域学校協働本部等が運営する形として実施）

# 協議

- ・ **部活動地域移行の方向性について**